

手引の骨子(案)

○運用の手引の骨子(案)は以下の通り

- ・アンケート調査(全国地方公共団体調査等)や「優先的検討運営支援事業」の内容も手引へ反映予定

○運用の手引の目的

- ・地方公共団体が円滑に優先的検討規程を運用するため、事例をもとに検討過程ごとのポイントを解説
- ・アクションプランを踏まえたPPP/PFIの推進(コンセッション事業や収益型事業の推進)

序章 本手引の目的等

1. はじめに

- 本手引の位置づけ
- 本手引の構成

第一章 実効ある優先的検討の運用に向けて(基礎編)

1. 優先的検討指針に関する解説

全論点

啓発

- 運用上の課題(中間フォローアップ調査等)についての解説
Q&A(対象事業の考え方、庁内体制他)

2. 事業手法選定にあたっての考え方

論点2

論点3

<事例集>

- 事業分野ごとの特徴及び事例集

3. 簡易な検討における数値設定等

<調査結果報告>

論点4

- 調査概要・調査結果・分析

第二章 PPP/PFIの推進に向けて(応用編)

4. 収益化に向けた考え方(アクションプランの解説)

啓発

- コンセッション事業、収益型事業推進の考え方
- 事業規模目標他

5. 優先的検討段階における収益化の考え方

論点5

<事例集+考え方>

- 収益型事業の検討方法及び留意点
- コンセッション事業の検討方法及び留意点

6. 庁内推進体制の構築について

論点1

論点6

<事例集+考え方>

- PPP/PFIを推進している地方公共団体における庁内体制
- 実効ある優先的検討の実施のためのPDCAの考え方

参考資料

- 事例集の索引(事例リスト・掲載場所の紹介)
- 各省による支援制度

※論点は第1回部会で抽出されたもの

※赤字は本日個別に議論いただきたい内容

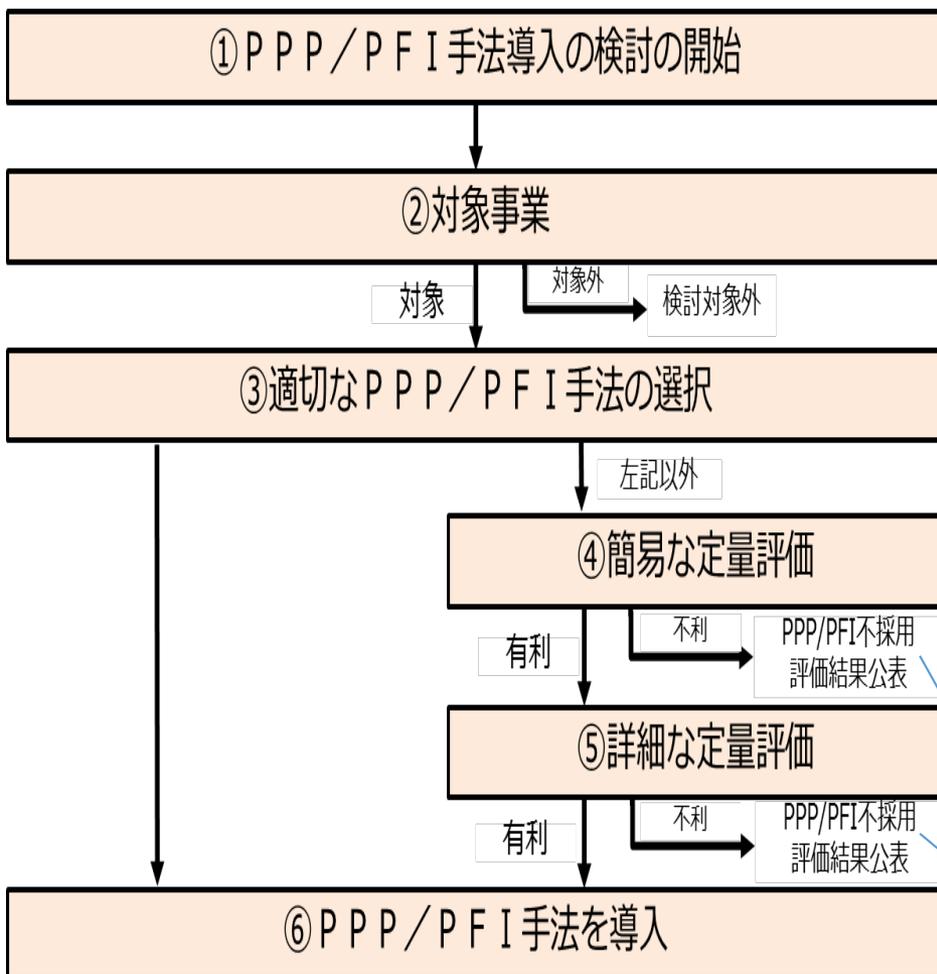
(参考)優先的検討プロセスにおいて抽出された論点

【対象事業主体】国、地方公共団体、公共法人（独法、公社等）

【対象施設】公共施設等（例えば空港、上下水道等の利用料金が発生する施設や庁舎、宿舍、公営住宅、学校等を含む。）

【対象事業】整備等（例えば新規建設、改修のみならず、運営、維持管理を含む。）

優先的検討プロセス



全国説明会での質疑応答・事後アンケートから、優先的検討を実施していく上での論点を抽出。

論点1（庁内体制）

庁内体制をどのように整備すればよいかわからない。

論点2（対象事業の考え方）

事業費基準未済であっても公的負担の抑制の観点からPPP/PFI手法の導入を検討すべきではないか。

論点3（適切な手法の選択）

実績が少なくどのような手法をとればよいかわからない。

論点4（簡易な検討表の数値の設定）

簡易な検討における計算表の数値の設定をどのように行えばよいかわからない。

論点5（コンセッション事業等の検討方法）

コンセッション事業・収益型事業をどのように検討するかわからない。

論点6（PDCAサイクル）

PDCAサイクルをどのように構築すればよいかわからない。

⇒各論点への対応策を運用の手引に反映。

本日も議論いただきたいポイント

○ 第3回優先的検討部会では、以下項目について議論・報告を行う。

1. 前回の議論の振り返り(済)

- ・事業手法の選定にあたっての考え方について
(前回の議論を踏まえた事例集に掲載する対象の事業分野の再整理)

2. 簡易な検討における数値設定等

3. 中間フォローアップの調査結果について(優先的検討規程の策定状況、運用上の課題等)

4. 優先的検討運営支援事業について(中間報告)

5. 優先的検討規程「運用の手引」(素案)